

II 中学部

1 学部目標

- (1) 自分でできることを増やすために、生活に必要な知識、技能の向上を図る。
- (2) 心身の健康と安全な生活への理解と習慣の形成を図る。
- (3) 自己理解を深めながら、社会生活に必要なコミュニケーション能力と行動力を高める。
- (4) 中学部卒業後の進路や働くことへの理解と意欲を高める。

2 経営の重点

- (1) 身に付けた知識、技能を生活の中で生かすことができるように、一人一人の個性とニーズに合わせた指導・支援に努める。
- (2) 健康と体力の増進、食育、性教育、防災教育について、家庭、寄宿舎と連携した指導・支援を進め、健康・安全に留意した望ましい習慣を形成する。
- (3) 日常の学習や集団活動を通して、コミュニケーションの意欲と技能を伸ばし、適切な行動をとることができるよう指導・支援する。
- (4) 日常の学習や進路に関する学習を通して、自分の進路や職業について具体的に知り、希望進路の実現に向けて意欲的に学校生活に取り組むよう指導・支援する。

3 教育課程

(1) 学習指導上のグループ編成

① 学級別の学習

「日常生活の指導」「生活単元学習」「特別の教科道徳」「特別活動」

② 全学年合同の学習

「生活単元学習」「保健体育」「美術」「音楽」「特別活動」「総合的な学習の時間」

③ グループ別の学習

「国語」「数学」「作業学習」

④ 個別の学習

「自立活動」

(2) 学習指導の形態

① 各教科等を合わせた指導

ア 日常生活の指導

生徒の日常生活が充実し、高まるように日常生活や社会生活において必要な基本的内容について適切に指導する。

イ 生活単元学習

生徒が生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を実際的・総合的に学習する。

ウ 作業学習

生徒の働く意欲を培い、将来の職業生活や社会自立を目指し、生活する力を高めると共に、日常の生活に生かすことのできる力を培う。

② 教科別、領域別の指導

ア 国語

日常生活に必要な国語についての理解を深め、伝え合う力を高めるとともに、それらを活用する能力と態度を育てる。

イ 数学

日常生活に必要な数量や図形などに関する事柄についての理解を深め、それらを扱う能力と態度を育てる。

- ウ 音楽
音楽についての興味や関心を深め、生活を明るく楽しいものにする態度と習慣を育てる。
 - エ 美術
造形活動によって、表現及び鑑賞の能力を培い、豊かな情操を養う。
 - オ 保健体育
適切な運動の経験や健康・安全についての理解を通して、健康の保持増進と体力の向上を図るとともに、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。
 - カ 特別の教科道徳
教育活動全体を通じて、道徳的な信条、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。
 - キ 特別活動
学級活動、生徒会活動、学部集会等の活動を通して、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己を生かす能力を養う。
 - ク 自立活動
個々の生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を培う。
重複障がい学級においては時間を設けて指導する。
- ③ 総合的な学習の時間
- 「きらりタイム」を設定し、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育てる。